

日本通運グループが提供する電子署名・電子契約

WAN-SIGN



取締役会議事録への活用

電子契約とは

取締役会議事録への活用

電子署名の操作

商業・法人登記オンライン申請

ご挨拶

拝啓 この度は、弊社電子契約サービス「WAN-Sign」（ワンサイン）のご提案の機会を賜り、誠にありがとうございます。

このサービスは2019年4月にリリースいたしました。

GMOインターネットグループの電子契約を基盤に金融機関様や大手企業様とのお取引を通じて積み上げてきた契約書原本管理のノウハウ（文書管理・契約管理・ユーザー権限管理・内部統制機能）を詰め込み、自社保有の国内データセンターにてサービス提供をしております。

さらに、開発前に「なぜ電子契約は広がらないのか」という問いをお客様にヒアリングさせていただきました。

「WAN-Sign」は、ヒアリングを通して遡上した課題を解決できるサービスとなっております。

また、後発サービスという利点を生かし、価格体系もリーズナブルに設定しております。

リリースから1年半が過ぎましたが、すでにアカウント数は約600社となっております。また、そのうちの約2割のお客様が金融機関様という実績も、「WAN-Sign」の大きな特徴かと存じます。



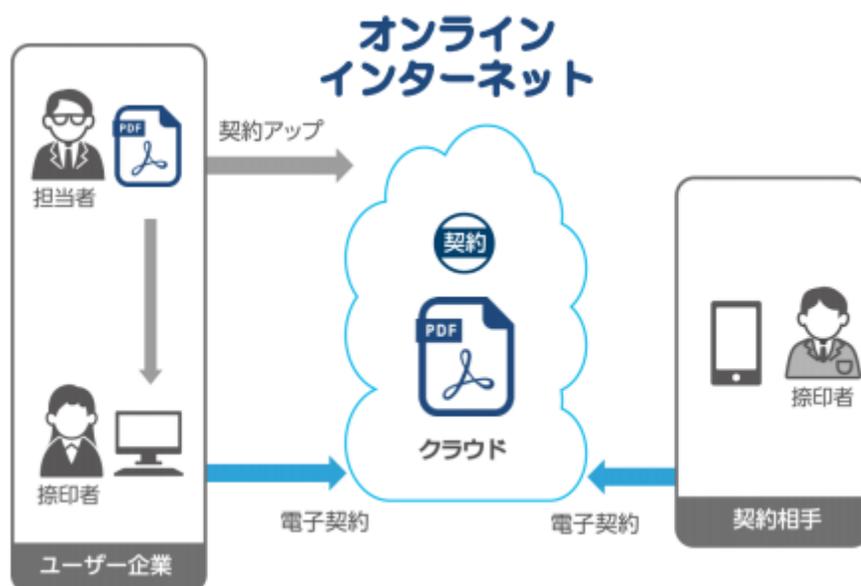
本資料では、WAN-Signを取締役会議事録への署名に活用した場合のポイントを紹介いたします。

どうぞご覧賜りますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

1. 電子契約とは

『紙＋押印』で締結し、契約書原本を管理していた従来契約に代わり、『電子データ（PDF）＋電子署名』で締結し、クラウド上での管理を行う新たな契約形態です



電子契約の3つのメリット

締結コストの削減



電子データ上のやり取りのため、印紙税・郵送費等諸経費を削減

締結手順の
スピードアップと
業務効率化



クラウド上で電子的に契約締結を行うため、早ければ5分で締結可能

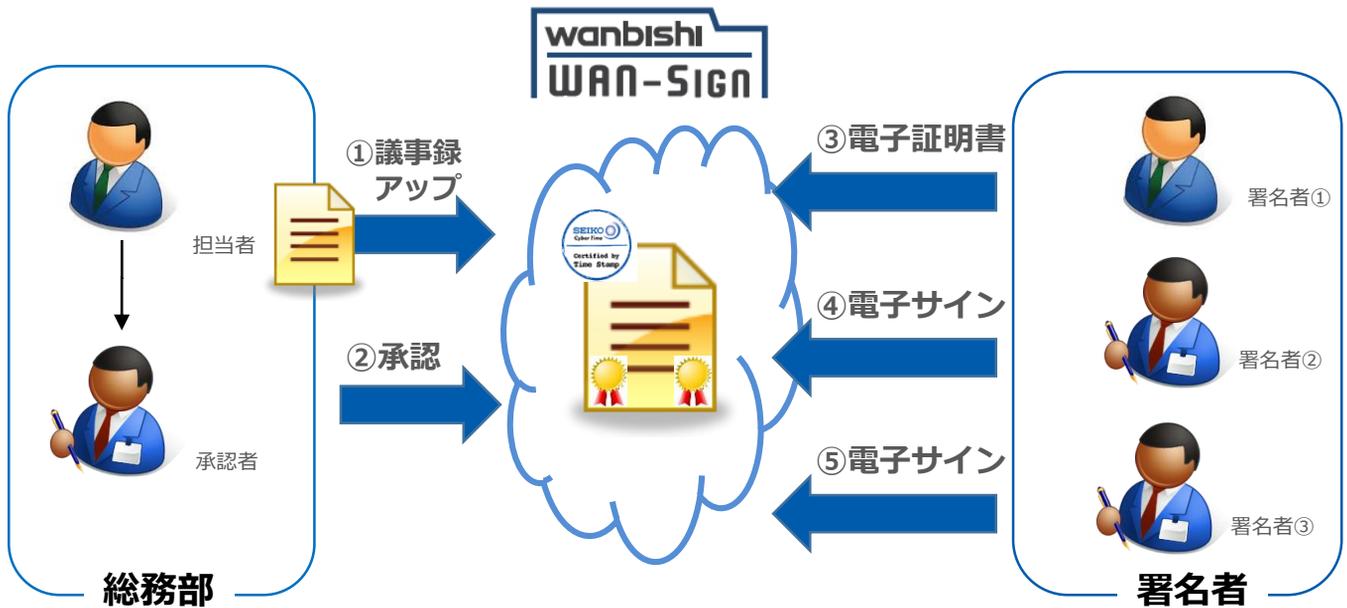
コンプライアンス
内部統制強化



データベース保管のため、締結漏れや改ざん、災害による紛失リスクが軽減

2. 取締役会議事録への活用

- リモートワーク・在宅勤務が浸透する中で、取締役会議事録への記名・押印に大きな負担を抱えている企業が増えております。
- **電子証明書による署名**に加え、簡易的な**電子サイン（メール認証）**もご用意。署名者毎に**署名方法・署名順**を選択できます。



電子署名完了後の議事録

WAN-Signで署名が完了したPDFには“タイムスタンプ” “署名者情報” “電子印影” が埋め込まれます

DocumentID 000177473	上記の決議を明確にするため、本議事録を作成し、議長および出席取締役（、監査役）がこれに記名捺印する。 平成〇年〇月〇日 株式会社〇〇〇〇取締役会
関連コード 0002854	
管理番号	議長 代表取締役社長 〇〇〇〇 印 電子印影 取締役副社長 〇〇〇〇 印
Signing Time 2020/08/18 18:02:09	
署名者情報	
社長様 [h-ohkawa@wanbishi.co.jp] が2020-08-18 18:00:48 +09:00 JSTに承認しました	
署名者情報	
副社長様 [marketing@wanbishi.co.jp] が2020-08-18 18:01:26 +09:00 JSTに承認しました	

タイムスタンプ

署名者情報 (全署名者)

電子印影

3. 電子署名の操作

以下の操作で電子署名が完了します。（電子サインの場合）

① 署名依頼メール受信

ワンビシ社長 さま

ワンビシデモ用A会社 ワンビシ デモ太郎 さまより文書への電子署名依頼が届いております。

先日開催された取締役会の議事録です。署名をお願い致します。

下記の URL より文書に電子署名を行ってください。

**メール本文のURLから
署名画面へ遷移**

文書名：取締役会議事録

電子署名 URL：

<https://jpn01.safelinks.protection.outlook.com/?url=https%3A%2F%2Fservice10.wanbishi.ne.jp%2FprivateSealTokens%3Ftoken%3Dey7u8ggR5wX10kedl5qnE8Lp9Lak7Jg5%26redirectTo%3Dtrue&data=40wanbishi.co.jp%7Ca4afc20656404b8355ff08d877215d27%7Cbc8ad18f5cb542a08e723e64d8023a17%7C07C637390332492219214%7CUnknown%7CTWFpbGZsb3d8eyJWIjoiMC4wLjAwMDAiLCJQIjoiV2luMzIiLCJBTiI6Ij7C1000&sdta=5IoK%2Fw5gUurhLc3md%2BeciIDeTOSvFYoa8X94L9zGdNs%3D&reserved=0>

② 議事録をプレビュー、電子印影を選択して署名

署名画像を選択してください



電子署名のイメージを選択してください

印鑑タイプ サインタイプ 手書き

法人名や氏名を入力してください



法務省が指定する商業・法人登記のオンライン申請時に必要な電子証明書として、「WAN-Sign」を使用して付与されるGMOグローバルサイン社発行の電子証明書が追加されました。

**商業・法人登記のオンライン申請において、
「WAN-Sign」で電子署名を付与した電子ファイルを
必要な添付情報としてご提出いただけます。**

※WAN-Signの電子証明書、電子サインによる署名方法の指定はありません。

5. 商業登記オンライン申請利用時の留意点

- 1) 商業登記の添付書面として提出する場合は、商業登記電子証明書による電子署名を付与する必要があります。
- 2) 商業登記電子証明書による電子署名を付与する際には、法務省のホームページでダウンロードすることができる申請用総合ソフトを使用する必要があります。
- 3) 取締役個人の実印または電子証明書提出が必要なケースがあります。

なお、法務省ウェブサイトの記載にもあるとおり、添付書面情報作成者が印鑑提出者（実印登録をする会社の代表取締役）でない場合であって、オンライン添付書面に市町村の印鑑証明書が必要とされているもの／添付書面に認証者の認証が必要とされている場合の認証者に関するものについては、これまでどおり、取締役個人の実印または個人の電子証明書提出が必要となります。

具体例としては、以下の議事録が挙げられます。

- * 代表権を持つ取締役になる際の就任承諾書
- * 代表権を持つ取締役を変更する際、新しい代表者を選任したことを証する書面

- 4) 類型としてはそれほど多くありませんが、詳しくは法務局または司法書士等専門家にご確認をお願いいたします。

法務省「商業・法人登記のオンライン申請について」：<http://www.moj.go.jp/MINJI/minji60.html>

6. 料金プラン

WAN-Signの電子契約はすべての機能が無料でお使いいただけます
契約締結件数と管理データ件数に応じてご利用料が変わります



初期費用0円、ユーザーID無制限

無料プラン

有料プラン

電子契約・電子印鑑

実印版

¥0/月

電子契約締結 月3件までの場合

※別途、電子証明書発行料が
年¥8,000 かかります。

認印版

¥0/月

電子契約送信 月10件までの場合

電子データ管理料

¥0/月

累計10件までの場合（実印版・
認印版共通）
PDFデータが添付された明細件数
のみ課金対象とします。

電子契約・電子印鑑

実印版

¥300/件

電子契約締結 ¥300/件

※別途、電子証明書発行料が
年¥8,000 かかります。

認印版

¥100/件

電子契約送信 ¥100/件

電子データ管理料

¥10,000~/月(5,000件ごと)

電子契約・書面契約共通
PDFデータが添付された明細件数のみ課金対象とします。

※容量に応じたプランを別途用意しております。

書面契約

全件電子化

¥75,000~/箱

文書受入作業、全件電子化作業が
含まれます。

オンデマンド電子化

¥30,000~/箱

文書受入作業が含まれます。
オンデマンド電子化作業は
1件あたり別途¥1,000かかります。

■電子データ管理料は件数プランから容量プランへの変更も可能です。
※200GBまで月額3万円、以降100GBごと月額1万円

■WAN-Sign上から都度の電子化依頼以外に過去分の一括スキャン代行、
他社サービスからの移行対応も可能です。

おおよその月間締結件数がお分かりの場合、お見積りをご用意
できます。その他ご利用シーンに応じた算出も可能です。

お気軽にお問い合わせください

セキュリティ体制

多くのお客様に安心して機密情報を預けて頂けるよう創業以来、厳格なセキュリティ体制でデータをお預かりしている長年の実績があります。外部調達ではなく、災害対策を施した自社所有の施設でデータを保全。

セキュリティ運用・保全



自社運営の国内データセンター



定期的に脆弱性診断を実施し、不正な侵入への対策を実施しております。
またセキュリティ専任チーム(W-CSIRT)を設置し、情報管理を徹底しております。

1966年創業以来、金融機関・医療機関・製薬業などセキュリティ基準の厳しい企業・機関へ契約管理システムを提供し、選ばれ続けている実績があります。

当社はコンピュータセキュリティインシデントを未然に防ぐ活動に注力する一般社団法人日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会に加盟しております。

セキュリティ認証

WAN-Signは以下の認証などを受けたサービスです。



情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS)
ISO/IEC27001 認証



品質マネジメントシステム (QMS)
ISO9001 認証



総務省指導下 情報セキュリティ対策ガイドライン
ASP・SaaS安全・信頼性情報開示認定制度の取得

※企業としてプライバシーマークも取得済み

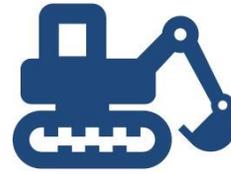


金融機関等のセキュリティ基準であるデータセンターの実地監査も可能

受賞・その他認定歴



法務省より
商業・法人登記オンライン申請で
利用可能なサービスへ指定



国土交通省・経済産業省より
建設業法における適法性を
確認済みのサービス



経済産業省の
スマートSMEサポーター
認定



総務省後援 ASPIC
IoT・AI・クラウド
アワード支援業務系分野
準グランプリ賞



七十七銀行等 主催
X-Tech Innovation2019
東北地区最終選考にて
協賛企業賞受賞

導入企業

使いやすさとセキュリティ体制から評価をいただき、
金融機関や大手企業を中心に業種・企業規模に問わずご利用いただいています



四国電力株式会社



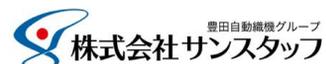
大和ネクスト銀行
Daiva Next Bank



sawai



株式会社 電通マネジメントサービス



ワンビシアークाइブズの沿革

- 1966 ● ワンビシ倉庫株式会社創立
関東第1センター 開所
- 1978 ● 株式会社ワンビシアークाइブズに社名変更
- 2006 ● 株式会社豊田自動織機より出資受け入れ
- 2007 ● 株式会社豊田自動織機の出資率変更（100%）
- 2015 ● 日本通運株式会社へ株主変更（100%）
- 2019 ● WAN-Signサービスリリース



▲ 情報管理センター
全国13ヶ所/海外拠点（上海）1ヶ所

ワンビシアークाइブズは1966年の設立以来、機密性の高い文書や磁気テープをお預かりすることから始まり、デジタルデータ、生体試料の管理、電子契約、AI-OCRサービスまで範囲を拡大しています。現在では、官公庁や金融機関・医療機関・製薬業をはじめとしたセキュリティ基準の厳しい企業・機関をはじめとした4,000社以上のお客様へ重要な情報資産の発生段階から活用、保管、抹消までのライフサイクル全てをカバーした総合的サービスを提供しています。長年の実績から業界トップシェアにまで成長しております。

ワンビシアークाइブズの主なサービス

- 文書保管・管理サービス -

- 書類保管サービス
- 書類電子化サービス(スキャン代行)
- 機密抹消サービス
- 電子契約・契約管理サービス
「WAN-Sign」
- AI-OCR×BPOサービス
- 歴史資料の永年保管

- コンサルティングサービス -

- 文書コンサルティングサービス

- データマネジメントサービス -

- 磁気メディア・テープ保管/集配
- テープマネジメント/データ復旧
- オンラインバックアップサービス

- 医療・製薬業界向けサービス -

- 細胞/検体保管サービス
-Cryogenic Archives-
- GxP関連資料保存サービス

GxP (GLP, GCP, GMP, GPMSP/GPSP, GVP, GQP) 省令により、保存を要する医薬品開発関連資料を保管・管理

セミナー随時開催中

オンラインセミナーにて
「契約管理・電子化のすすめ」開催

— 過去開催セミナー —



宮内宏弁護士が
WAN-Signを解説！
電子契約の法的有効性とメリット



セミナー情報

説明・デモなどお気軽にお問い合わせください

資料に関するご質問・お問合せ

東京本社	東京都港区虎ノ門4-1-28	☎ 03-5425-5300
名古屋支店	愛知県名古屋市東区東桜1-3-10	☎ 052-954-9050
大阪支店	大阪府大阪市中央区瓦町2-2-7	☎ 06-6232-2400
九州支店	福岡県福岡市博多区下呉服町1-1	☎ 092-518-1144



wanbishi
ARCHIVES

株式会社ワンビシアーカイブズ

URL : www.wanbishi.co.jp/econtract/